

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

処分撤回と乗務
復帰まで闘う！

絶対に許さない

生理現象を理由に運転士生命を断つJR東



10・21 銚子運輸区門前抗議行動

「自分のトイレのために列車を遅らせるわけにはいかない」と、必死に耐えて、それでも我慢の限界に達して運転席からしてしまった。これが一人の労働者の人生を奪うまで責め立てるべきことでしょ

JR千葉支社は、佐倉駅で我慢できずに運転席から用を足してしまった問題で、10月17日の動労千葉との団交の直後、当該の動労千葉組合員に、運転士の職を剥脱してCTS成田駅に強制出向する通知を行いました。
減給処分に加え、「信用を失墜させた」として運転士生命まで断つというのです。
絶対に許すことはできません。動労千葉は怒りに燃えて全力で反撃を開始しました。

生理現象で処分するな！

うか？

生理現象は自分の意思ではどうにもならないことがあります。「指令に連絡すれば駅のトイレに行つていい」「列車が遅延しても構わない」という綺麗な事で済まないことは、乗務員の誰もが経験していることです。

実際に、運転席で洩らしてしまった乗務員もいるほどなのです。乗務員を責めて済む問題ではありません。

尼崎事故と根っこは同じだ

今回の問題は、福知山線脱線事故（尼崎事故）と根っこは同じです。尼崎事故は、人格や人権まで否定して運転士を締め付けたことが、ありふれた些細なミスを、107人の生命を奪う最悪の事故にまで拡大させてしまいました。

近鉄奈良線で車掌が高架から飛び降り自殺を図った事件は、いつ「第2の尼崎事故」になってもおかしくないことを示しています。

「胡坐をかいた」と摘発された運転士は、今も乗務を外され、同じく運転士の職を剥脱されようとしています。

もう限界です。こんなことを続ければ、間違いなく重大事故が起きます。処分撤回・乗務復帰へ闘う動労千葉と共に反撃の声をあげよう。